

2007/4/9

xStack L2+ギガビットマネジメントスイッチ DGS-3400 シリーズ IPv6 製品の相互運用性を認定する「IPv6 Ready Logo Phase-1」を取得

ディーリンクジャパン株式会社（本社：東京都港区港南 代表取締役社長 大久保 融）は、xStack L2+ ギガビットマネジメントスイッチ DGS 3400 シリーズについて、IPv6 製品にロゴを発行する国際的なプログラム「IPv6 Ready Logo Program」における、IPv6 対応製品の相互運用性を認定する「IPv6 Ready Logo Phase-1」を取得いたしました。

「IPv6 Ready Logo Program」は、「IPv6 forum」や、「IPv6 普及・高度化推進協議会」、「TAHI プロジェクト」等が推進している国際的な認定プログラムで、IPv6 対応機器の相互運用性を確認し、全世界共通の認定をするものです。様々な環境における IPv6 対応製品の相互運用性を認定することで、ユーザが安心して IPv6 製品を購入する目安となるだけでなく、IPv6 の普及を促すものでもあります。

近年のインターネット利用増加にともなう、ネットワークアドレス枯渇の心配が解消できる IPv6 は、高速ルーティング、セキュリティ機能の追加、データ転送における安全性・効率性の向上などの実現が可能のため、普及が拡大してきています。ディーリンクジャパンでは、こうした市場のニーズに対応するため、「IPv6 Ready Logo」の取得など含み、積極的に IPv6 に対する取り組みを進めてまいります。

【DGS 3400 シリーズ】SMBをはじめエンタープライズに対して、高パフォーマンス、柔軟性、セキュリティ、マルチレイヤ QoS、及びリダンダント電源を提供する次世代型スイッチです。さらに高速ギガビットポートのスタック、拡張モジュールによる SFP 光ファイバ接続、10 ギガアップリンク、およびエンハンスド・レイヤ 2+機能で L3 コアスイッチとともに高速のバックボーンや中央サーバを持つマルチレベルネットワークを構築します。



製品に関するお問い合わせ・詳細は、弊社営業本部までご連絡ください。（03-5781-0963）